

のどか

第26号

令和6年3月吉日発行

ペットボトルを使ったゲーム



みんな元気ハツラツ!!!

壁画づくり

今年の干支



年女も奮闘中...

楽門来福



私の手に持っている物は何か教えて下さい。

色合いを考えながら塗り絵



縫い物もお手のもの

回想法



ケアダンス中

秋の味覚



栗ご飯!(^^)!



年男も頂いています

色とりどりのお菓子



鬼柚子



鑑賞後お風呂に入れて
楽しみました

バレンタイン



手作りオヤツ



お月見



たくさんの頂き物ありがとうございました。
美味しくいただきました。

二十歳のお祝い



昨今の感染者数の推移を鑑み、外部研修の参加が厳しい状況にあります。そこで、事業所内で定期的に勉強会や研修を行っています。

～事業所内研修報告～

- ・ 1人ひとりの行動目標について
- ・ 法令順守について
- ・ 地域密着型サービスの理解
- ・ 業務効率化について
- ・ 感染症に関する理解
- ・ 虐待につながる不適切ケアとは(事例検討)
- ・ 相談・苦情の事例検討
- ・ 個人情報保護の取り組み
- ・ 法改正の動向について
- ・ 避難訓練及び非常災害について

など

お知らせ

のどかでは社会貢献活動の一環としてプルタブの回収を行っています。
集めたプルタブで福祉施設へ車椅子の贈呈を行っています。



ご協力の程、宜しくお願いします。

この度の能登半島地震では、大変に怖い思いをしましたね。地震から2ヶ月余りが経ち、ようやく日常の生活が戻りつつありますが、ご利用者の中には、「怖かった。1人で逃げる事もできない。」と安心しきれない方や、テレビに映る被災地の様子を見て、心を痛められる方も多くいます。また、「障がいの特性で避難所に入れなかった。」という話も聞きました。

田んぼの真ん中の「みんなの家のどか」では、稲が育つ様子や山の木々の色の移り変わりなどの四季を感じる事が出来ます。ここに集う全ての人が、のんびりと静かに朗らかに穏やかに過ごしていただきたいとの思いで、「みんなの家のどか」という名前になりました。

「みんなの家のどか」は、皆さんが少しでも安心して過ごせる場、笑顔で過ごせる場でありたいと考えています。まだまだ配慮が必要ですが、まずは働くスタッフが心豊かに皆さんをお迎えできるよう、前へ進んでいきます。

皆さん、お身体をご自愛ください。元気に過ごしましょう。皆さんが笑って過ごせますように。

須賀 克枝

みんなの家のどか

〒935-0252 氷見市中村 485 番地 1

TEL 0766-73-6321

FAX 0766-72-6322

ホームページ

<http://toyamagata.com/nodoka/>

報は承諾を得ており、正しく取り扱っています。

使用している写真や氏名等の個人情報見学・相談等、いつでも受け付けています。まずはお気軽にお電話下さい。

コロナ感染対策を継続し実施しています。